

## □ DV（配偶者暴力）やハラスメントについて

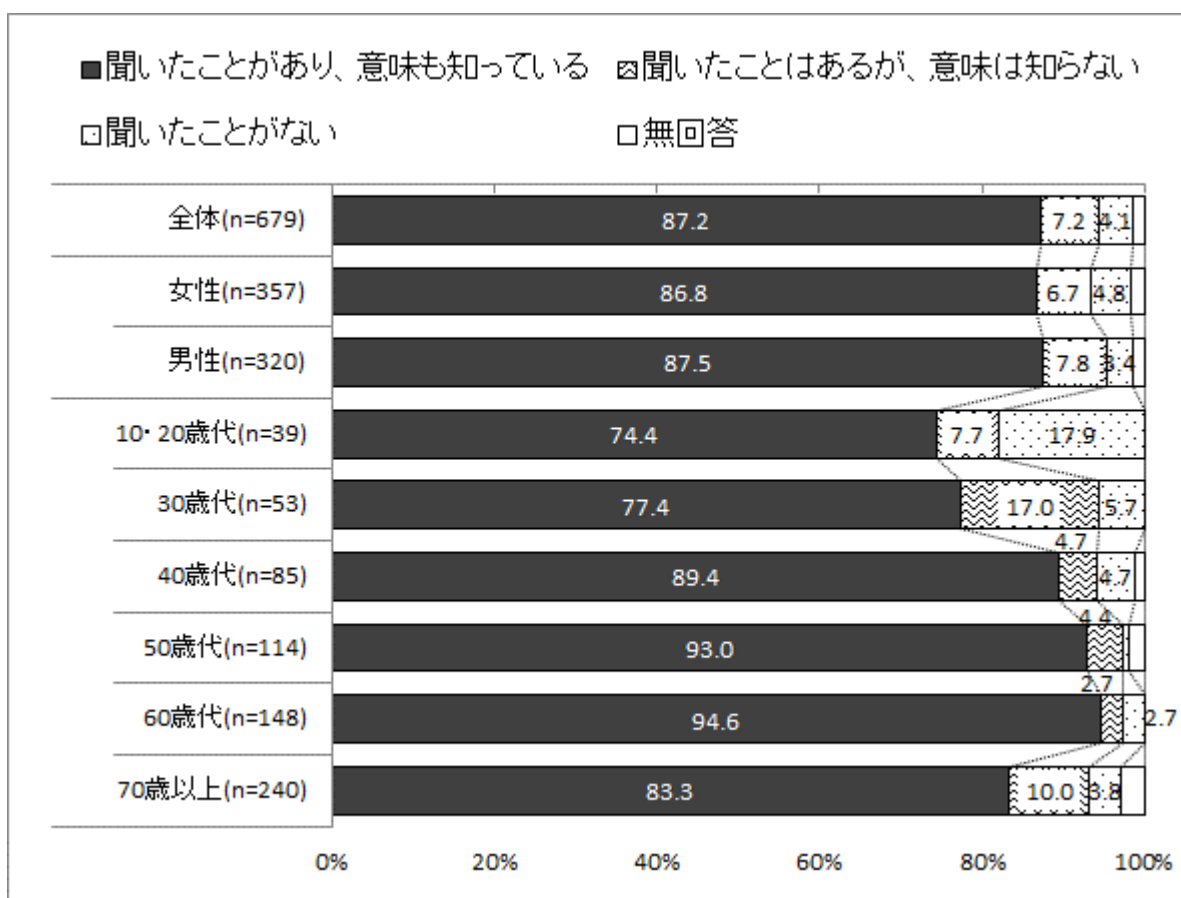
問16 「配偶者暴力防止法（DV防止法）」という言葉の認知度について

（令和3年新規調査項目）

「配偶者暴力防止法（DV防止法）」という言葉を知っていますか。当てはまる番号を記入してください。

⇒ 「配偶者暴力防止法（DV防止法）」という言葉の意味を知っている方は、全体の約87%

「配偶者暴力防止法」という言葉の認知度について（全体・性別・年代別） 単位（%）



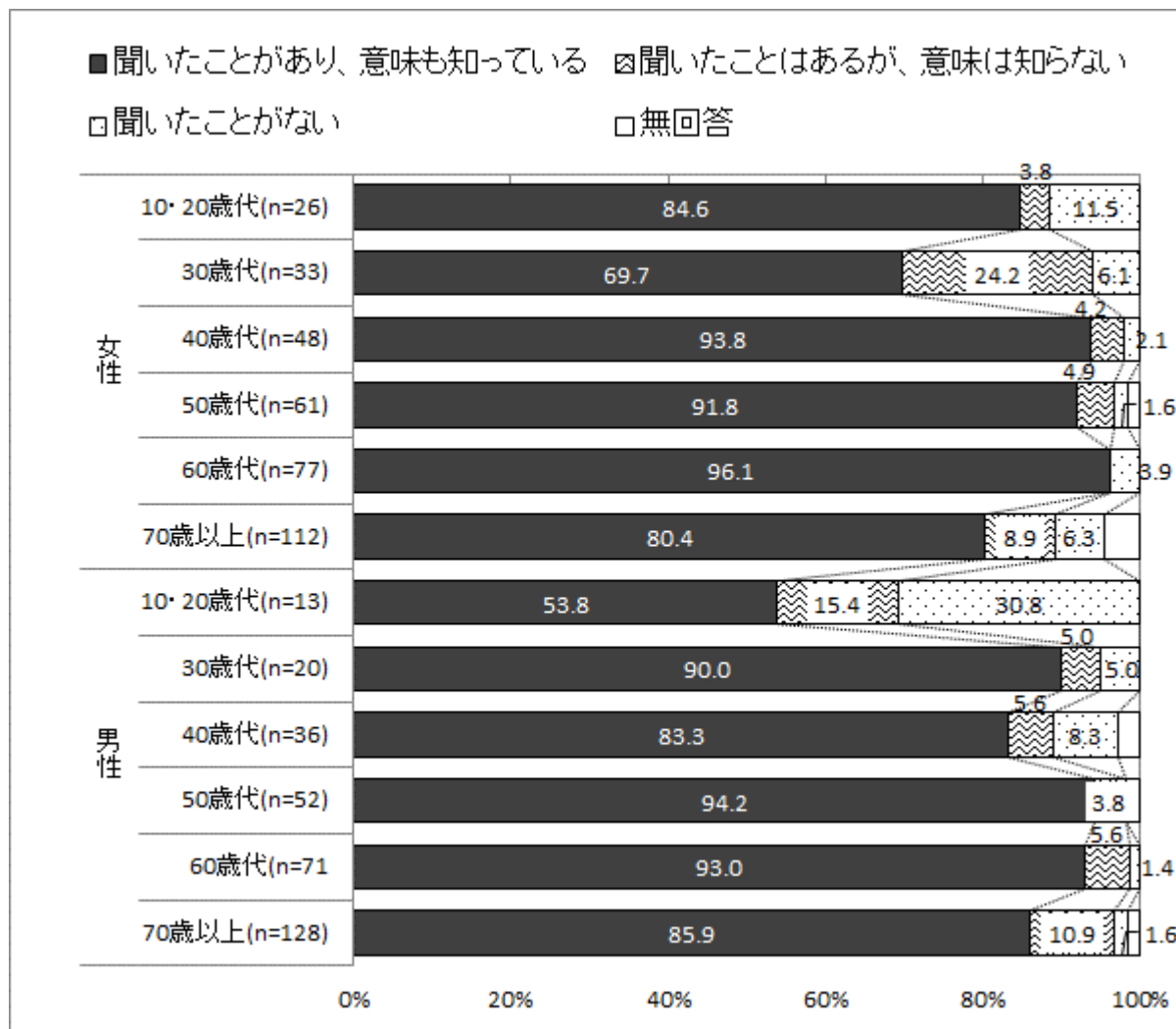
「配偶者暴力防止法（DV防止法）」という言葉の意味について聞いたところ、全体では、「聞いたことがあり、意味も知っている」の割合が87.2%、「聞いたことがない」が4.1%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が7.2%となっている

性別で見ると、女性・男性とも全体と同様の傾向となっている。

年代別で見ると、「聞いたことがあり、意味も知っている」の割合は、50歳代、60歳代で90%を超えるなど全体的に高い認知度となっている。また、「聞いたことがない」は10・20歳代で17.9%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」は30歳代で17.0%となったが、他の年代ではいずれも低い割合となっている。

「配偶者暴力防止法」という言葉の認知度について（性×年代別）

単位（％）



性×年代別で見ると、女性の40歳代～60歳代、男性の30歳代と50歳代、60歳代で90%を超える高い認知度となっている。また、「聞いたことがない」「聞いたことはあるが、意味は知らない」の割合は、若い年代で高い傾向となっている。

問17 DV, セクハラについて（複数回答）

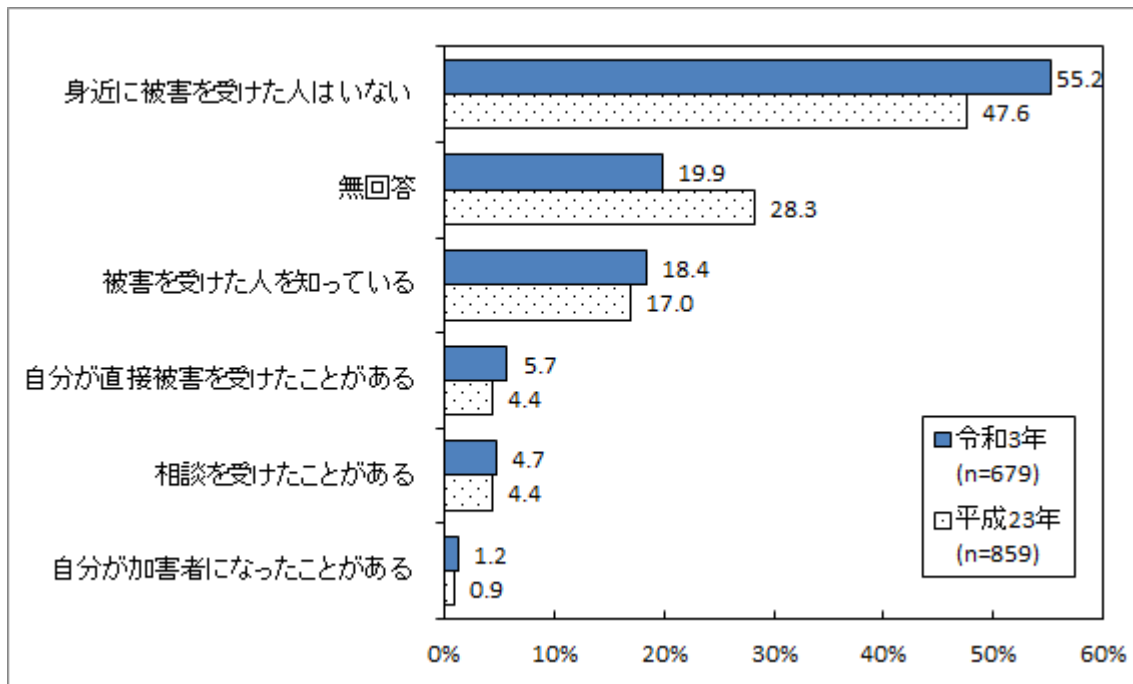
DV（ドメスティック・バイオレンス、配偶者などからの暴力）やセクハラ（セクシュアル・ハラスメント、性的嫌がらせ）について、あなたは身近で見聞きしたことがありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

① DV

⇒ 全体では、DVの被害経験は約6%、身近でのDV被害見聞は約18%

DV（全体）

単位（%）



（複数回答）

DVを身近で見聞きしたことがあるかについて聞いたところ、「身近に被害を受けた人はいない」の割合が55.2%、「無回答」が19.9%となったが、「被害を受けた人を知っている」が18.4%、「自分が直接被害を受けたことがある」が5.7%となり、前回調査よりも増加となっている。

D V（全体・性別・年代別・性×年代別）

単位（％）

		自分が直接被害を受けたことがある	ある相談を受けたことがある	被害を受けた人を知っている	身近に被害を受けた人はいない	自分が加害者になったことがある	無回答
全体		5.7	4.7	18.4	55.2	1.2	19.9
女性		7.6	5.0	20.7	51.8	0.3	20.2
男性		3.4	4.4	15.9	59.1	2.2	19.7
年代別	10・20歳代	10.3	2.6	12.8	66.7	2.6	12.8
	30歳代	3.8	1.9	13.2	64.2	1.9	15.1
	40歳代	11.8	5.9	31.8	40.0	1.2	15.3
	50歳代	6.1	11.4	24.6	56.1	1.8	11.4
	60歳代	5.4	3.4	18.9	56.8	0.7	20.3
	70歳以上	3.3	2.9	12.5	55.4	0.8	27.5
女性	10・20歳代	11.5	0.0	11.5	69.2	0.0	11.5
	30歳代	6.1	3.0	12.1	57.6	0.0	21.2
	40歳代	10.4	4.2	39.6	37.5	0.0	14.6
	50歳代	8.2	14.8	29.5	47.5	0.0	11.5
	60歳代	7.8	5.2	23.4	49.4	0.0	22.1
	70歳以上	5.4	1.8	10.7	56.3	0.9	27.7
男性	10・20歳代	7.7	7.7	15.4	61.5	7.7	15.4
	30歳代	0.0	0.0	15.0	75.0	5.0	5.0
	40歳代	11.1	8.3	22.2	44.4	2.8	16.7
	50歳代	3.8	7.7	19.2	65.4	3.8	11.5
	60歳代	2.8	1.4	14.1	64.8	1.4	18.3
	70歳以上	1.6	3.9	14.1	54.7	0.8	27.3

（複数回答）

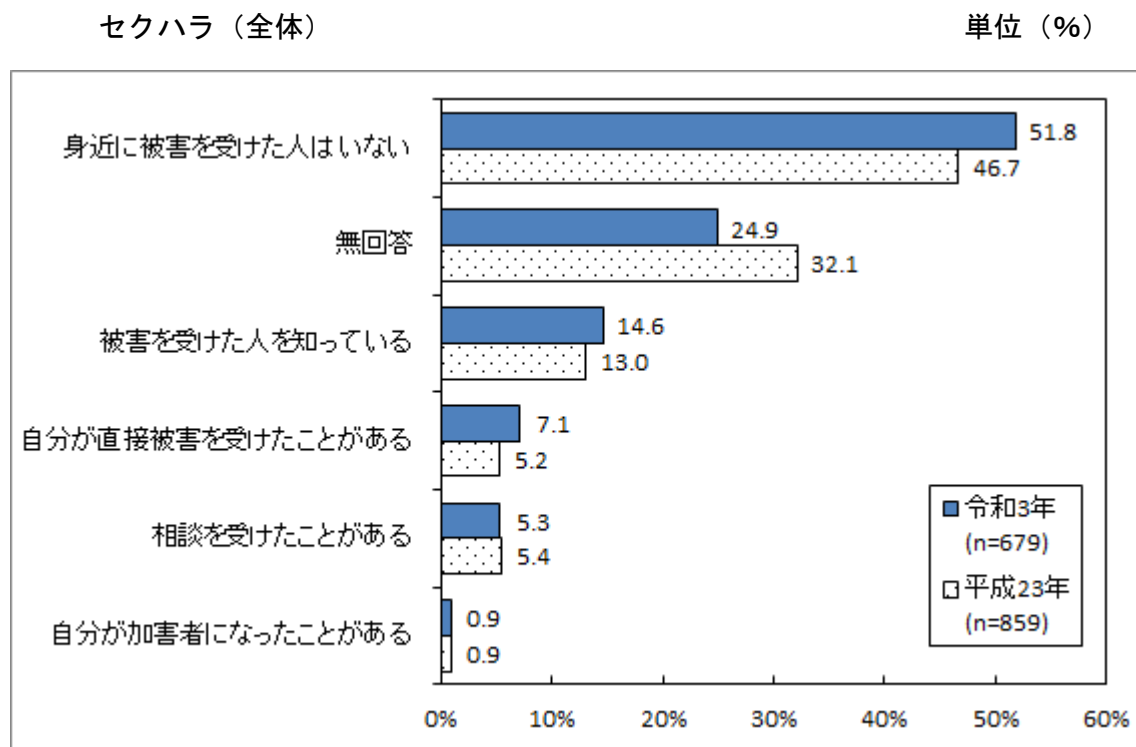
性別で見ると、「被害を受けた人を知っている」の割合は、女性が20.7%、男性が15.9%、「自分が直接被害を受けたことがある」の割合は、女性が7.6%、男性が3.4%となり、いずれも女性の割合が高くなっている。

年代別で見ると、「被害を受けた人を知っている」の割合は、40歳代と50歳代が高く、「自分が直接被害を受けたことがある」の割合は、40歳代、10・20歳代が高くなっている。

性×年代別で見ると、「被害を受けた人を知っている」の割合は、女性・男性とも40歳代と50歳代の割合が高く、「自分が直接被害を受けたことがある」の割合は、女性・男性とも40歳代と10・20歳代が高くなっている。

## ② セクハラ

⇒ 全体では、セクハラの被害経験は約7%、身近でのセクハラ被害見聞は約15%



（複数回答）

セクハラを身近で見聞きしたことがあるかについて聞いたところ、「身近に被害を受けた人はいない」の割合が51.8%、「無回答」が24.9%となったが、「被害を受けた人を知っている」が14.6%、「自分が直接被害を受けたことがある」が7.1%となり、前回調査よりも増加となっている。

## セクハラ（全体・性別・年代別・性×年代別）

単位（％）

		自分が直接被害を受けたことがある	相談を受けたことがある	被害を受けた人を知っている	身近に被害を受けた人はいない	自分が加害者になったことがある	無回答
全体		7.1	5.3	14.6	51.8	0.9	24.9
女性		10.9	5.6	12.6	50.1	0.3	26.6
男性		2.5	5.0	16.9	53.8	1.3	23.1
年代別	10・20歳代	12.8	12.8	25.6	51.3	0.0	12.8
	30歳代	13.2	3.8	17.0	58.5	0.0	15.1
	40歳代	10.6	7.1	23.5	38.8	1.2	24.7
	50歳代	9.6	7.0	18.4	54.4	0.9	16.7
	60歳代	8.1	4.1	10.1	54.7	0.7	24.3
	70歳以上	1.7	3.8	10.0	52.1	0.8	33.3
女性	10・20歳代	19.2	19.2	19.2	53.8	0.0	11.5
	30歳代	21.2	6.1	18.2	48.5	0.0	18.2
	40歳代	12.5	6.3	22.9	37.5	0.0	27.1
	50歳代	13.1	6.6	14.8	52.5	1.6	21.3
	60歳代	11.7	5.2	11.7	48.1	0.0	27.3
	70歳以上	3.6	1.8	4.5	55.4	0.0	34.8
男性	10・20歳代	0.0	0.0	38.5	46.2	0.0	15.4
	30歳代	0.0	0.0	15.0	75.0	0.0	10.0
	40歳代	5.6	8.3	25.0	41.7	2.8	22.2
	50歳代	5.8	7.7	23.1	55.8	0.0	11.5
	60歳代	4.2	2.8	8.5	62.0	1.4	21.1
	70歳以上	0.0	5.5	14.8	49.2	1.6	32.0

（複数回答）

性別で見ると、「被害を受けた人を知っている」の割合は、女性が12.6%、男性が16.9%となっている。「自分が直接被害を受けたことがある」の割合は、女性が10.9%、男性が2.5%となっている。

年代別で見ると、「被害を受けた人を知っている」の割合は、10・20歳代、40歳代、50歳代が高く、「自分が直接被害を受けたことがある」の割合は、若い年代ほど高くなっている。

性×年代別で見ると、「被害を受けた人を知っている」の割合は、女性では40歳代が22.9%、10・20歳代が19.2%、30歳代が18.2%と高く、男性では10・20歳代が38.5%、40歳代が25.0%、

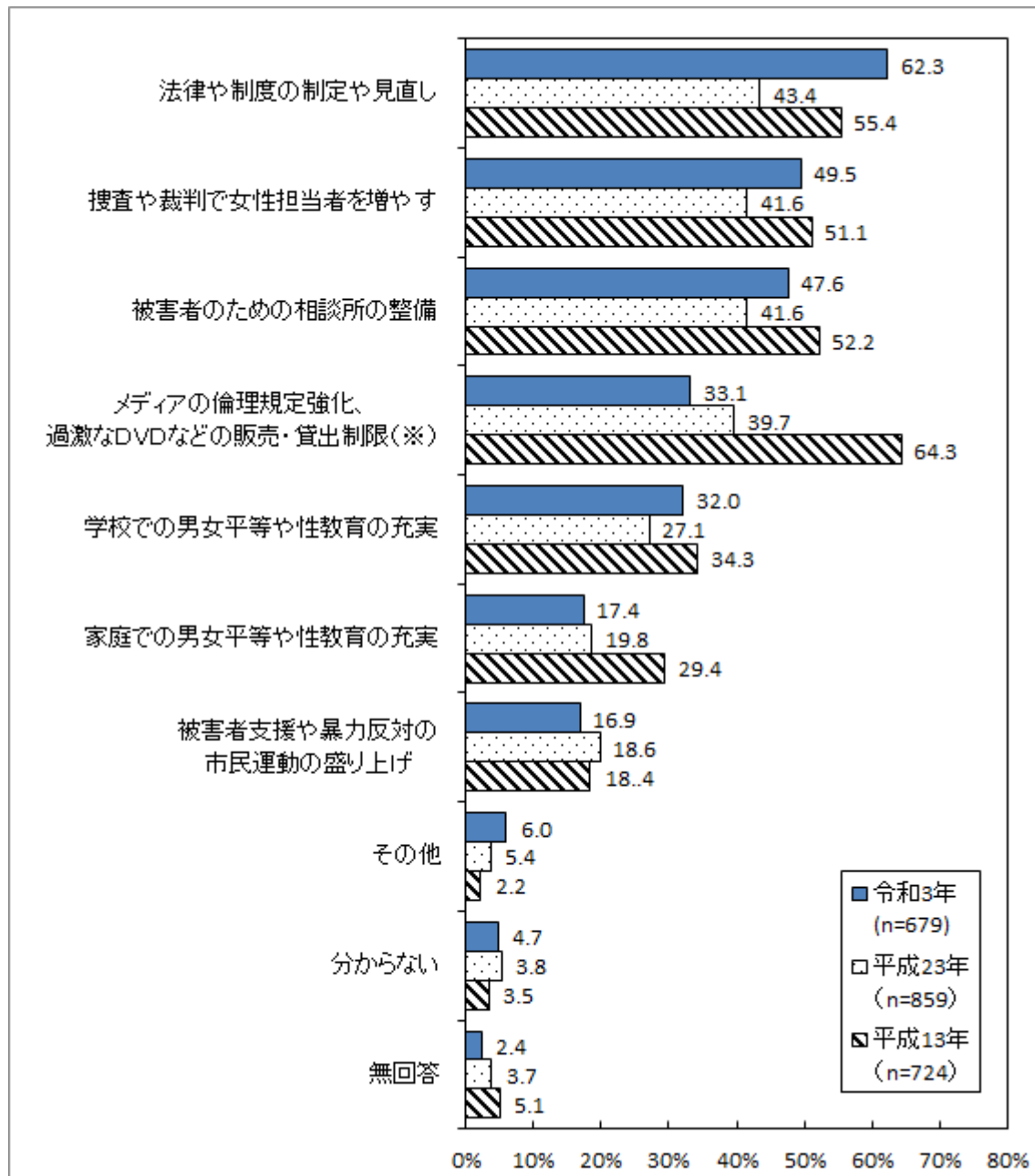
50歳代が23.1%と高くなっている「自分が直接被害を受けたことがある」の割合は、女性では30歳代が21.2%、10・20歳代が19.2%と高くなっているが、男性の被害経験は各年代で10%未満となっている。

問18 DV等の暴力をなくすためにどうしたらよいか（複数回答）

性犯罪、売買春（援助交際など）、DV、セクハラなどの暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。当てはまる番号3つまで選んで記入してください。

⇒ 1位は「法律や制度の制定や見直し」

DV等の暴力をなくすためにどうしたらよいか（過去の調査との比較） 単位（％）



（複数回答）

(※) 平成13年調査と質問内容を変更したため、参考として掲載している。平成13年は、「メディアの倫理規定強化（15.1%）」と「過激なDVDなどの販売・貸出制限（49.2%）」の二つの項目に分かれていたものを、平成28年調査から一つにしている。



DV等の暴力をなくすためにどうしたらよいかについて聞いたところ、「法律や制度の制定や見直し」「捜査や裁判で女性担当者を増やす」「被害者のための相談所の整備」の割合が40%を超えている。

前回調査と比較すると、上位項目の入れ替わりはなく、傾向は変わっていない。

DV等の暴力をなくすためにどうしたらよいか（全体・性別・年代別） 単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	学校での男女平等や性教育を充実する	
		62.3	49.5	47.6	33.1	32.0
女性	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	学校での男女平等や性教育を充実する	
		61.6	54.3	45.7	37.0	30.0
男性	法律や制度の制定や見直しを行う	被害者のための相談所を整備する	捜査や裁判で女性担当者を増やす	学校での男女平等や性教育を充実する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	
		63.1	50.0	44.1	33.8	28.4
年代別	10・20歳代	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	学校での男女平等や性教育を充実する	家庭での男女平等や性教育を充実する
		66.7	48.7	33.3	28.2	25.6
	30歳代	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	学校での男女平等や性教育を充実する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限
		71.7	52.8	45.3	35.8	20.8
	40歳代	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	学校での男女平等や性教育を充実する
		67.1	43.5	40.0	32.9	30.6
50歳代	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	学校での男女平等や性教育を充実する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	
	72.8	50.9	46.5	30.7	25.4	
60歳代	法律や制度の制定や見直しを行う	捜査や裁判で女性担当者を増やす	被害者のための相談所を整備する	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	学校での男女平等や性教育を充実する	
	62.8	56.1	49.3	36.5	32.4	
70歳以上	法律や制度の制定や見直しを行う	被害者のための相談所を整備する	捜査や裁判で女性担当者を増やす	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限	学校での男女平等や性教育を充実する	
		52.5	46.3	39.6	32.5	

（複数回答）

性別で見ると、男女共に「法律や制度の制定や見直し」の割合が60%を超えている。

年代別で見ると、各年代で「法律や制度の制定や見直し」の割合が高く、次いで「捜査や裁判で女性担当者を増やす」「被害者のための相談所を整備する」となっている。

DV等の暴力をなくすためにどうしたらよいか（性×年代別）

単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	10・20歳代	法律や制度の制定や見直しを行う 73.1	捜査や裁判で女性担当者を増やす 65.4	被害者のための相談所の整備 38.5	学校での男女平等や性教育を充実する 26.9	家庭での男女平等や性教育の充実 19.2
	30歳代	法律や制度の制定や見直しを行う 78.8	捜査や裁判で女性担当者を増やす 48.5	被害者のための相談所の整備 42.4	学校での男女平等や性教育を充実する 36.4	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 27.3
	40歳代	法律や制度の制定や見直しを行う 75.0	捜査や裁判で女性担当者を増やす 47.9	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 41.7	被害者のための相談所の整備 37.5	・家庭での男女平等や性教育の充実 ・学校での男女平等や性教育を充実する 各25.0
	50歳代	法律や制度の制定や見直しを行う 75.4	捜査や裁判で女性担当者を増やす 52.5	被害者のための相談所の整備 45.9	学校での男女平等や性教育を充実する 32.8	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 29.5
	60歳代	捜査や裁判で女性担当者を増やす 61.0	法律や制度の制定や見直しを行う 59.7	被害者のための相談所の整備 42.9	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 41.6	学校での男女平等や性教育を充実する 33.8
	70歳以上	被害者のための相談所の整備 53.6	捜査や裁判で女性担当者を増やす 52.7	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 43.8	法律や制度の制定や見直し 42.0	学校での男女平等や性教育を充実する 26.8
	男性	10・20歳代	法律や制度の制定や見直し 53.8	家庭での男女平等や性教育を充実 38.5	学校での男女平等や性教育を充実 各30.8	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 各23.1
30歳代		法律や制度の制定や見直し 各60.0	捜査や裁判で女性担当者を増やす 50.0	被害者のための相談所の整備 35.0	学校での男女平等や性教育を充実 15.0	その他
40歳代		法律や制度の制定や見直し 58.3	被害者のための相談所の整備 44.4	捜査や裁判で女性担当者を増やす 各36.1	学校での男女平等や性教育を充実 各22.2	・被害者支援や暴力反対の市民運動の盛り上げ ・家庭での男女平等や性教育を充実
50歳代		法律や制度の制定や見直し 63.2	捜査や裁判で女性担当者を増やす 50.0	被害者のための相談所の整備 48.1	学校での男女平等や性教育を充実 26.9	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 19.2
60歳代		法律や制度の制定や見直し 66.2	被害者のための相談所の整備 56.3	捜査や裁判で女性担当者を増やす 50.7	学校での男女平等や性教育を充実 各31.0	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限
70歳以上		法律や制度の制定や見直し 61.7	被害者のための相談所の整備 51.6	捜査や裁判で女性担当者を増やす 40.6	学校での男女平等や性教育を充実 37.5	メディアの倫理規定強化、過激なDVDなどの販売・貸出制限 35.9

（複数回答）

性×年代別で見ると、女性では、「法律や制度の制定や見直し」が10・20～50歳代まで割合が最も高くなっているが、各年代で「捜査や裁判で女性担当者を増やす」も上位となっている。

男性では、全ての年代で「法律や制度の制定や見直し」の割合が最も高くなっている。